受章おめでとうございます

～高齢者叙勲～

平成22年 高齢者叙勲（2月1日付）が内閣府から発表され、桜川市から1人の方が受章の栄誉を受けられました。

◆**瑞宝双光章**
藤田 一さん
元 真壁町収入役
（88歳・真壁町長岡地区）

藤田さんは、昭和50年10月に真壁町収入役に選任され、昭和57年12月まで町の会計管理の最高責任者としてその職務に精励されました。

厳しい財政状況の中、一般行政経費を抑制するなど景気回復を図るため、効率的な予算執行を促し、多年にわたって健全財政を堅持してきました。

同氏は、「今回の受章は誠に栄誉なことで喜びに堪えません。これも職場の先輩・同僚・後輩と家族の支えの賜と心から感謝しております。今後も、この栄誉に恥じることのないよう、地域に貢献していきたいと思います。」と、受章の喜びを話していました。

一分一秒を争う救急医療のために

7月1日から茨城県ドクター・ヘリが運航開始

一分一秒を争う緊急医療の救命率の向上と後遺障害の軽減を目的に、茨城県が単独導入を進めているドクター・ヘリコプターが7月1日（木）から運航開始いたします。

その運航を前に、5月19日（水）筑西広域消防本部ヘリポートで運航シミュレーションが行われました。当日は、筑西市内の市道を走行中のトラクターが誤って水田にトラクターごと転落横転。運転者が下敷きになっているとの想定の下、119番受信・救急救助出動・ドクター・ヘリ要請、ヘリ着陸場所での消防隊の着陸支援活動など、本番さながらのきびきびとした訓練が行われました。

ドクター・ヘリは、緊急用医療機具を装備し基地病院に常駐。県内26消防機関や医療機関などからの要請で、専門医師や看護師を乗せて救急現場へ飛び、必要な診察・処置を施した後、機内で治療を継続しながら医療機関へ向かう緊急医療用のヘリコプターです。

茨城県内のドクター・ヘリは、平成16年7月から県南・鹿行地域の消防本部管内について日本医科大千葉北総病院（千葉県印西市）を基地病院として、千葉県と茨城県が共同運航していましたが、茨城県の単独運航は今回が初めてで、基地病院は、日曜日～火曜日までが「水戸医療センター（茨城町桜の郷）」、水曜日～土曜日までが「水戸済生会総合病院（水戸市双葉台）」が担当いたします。

使用される機体は、全長約13㍍、全幅約11㍍、全高約4㍍で7人乗り。時速約200kmで70kmを約20分で移動できるため、出動要請から約20分以内に現場に到着できます。

運航時間は、8時30分～17時30分（日没）で、年間400回から700回程度の出動が想定されています。ただし、悪天候により視界が悪いときは運航を休止することがあります。

このドクター・ヘリの運航により、治療開始時間が大幅に短縮されるため、救命率の向上と後遺障害の軽減が期待されます。